



2020年12月8日

エムスリー株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

エムスリーと日本ベーリンガーインゲルハイム

間質性肺疾患を含む肺疾患に対するAI等を活用した診断支援に関する業務提携

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格 URL：<http://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）と日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：青野吉晃 URL：<https://www.boehringer-ingelheim.jp/>、以下「日本ベーリンガーインゲルハイム」）は、線維化を伴う間質性肺疾患を含む肺疾患の診断支援に関する業務提携契約を締結しましたのでお知らせ致します。

エムスリーと日本ベーリンガーインゲルハイムは、それぞれに強みを活かし、AI アルゴリズムを活用した胸部X線画像診断支援サービス等を広く医療機関に提供することにより、間質性肺疾患やその他の肺疾患の早期発見に貢献することを目的として業務提携を行うことと致しました。日本ベーリンガーインゲルハイムがもつ呼吸器領域における科学的知見の支援のもとに、エムスリーが医師チームと共に AI アルゴリズム開発を行って参ります。

間質性肺疾患は、肺胞の壁の部分である「間質」で炎症などが生じる病気の総称です。間質性肺疾患は、進行すると間質が厚く硬くなり（線維化）、うまくガス交換ができなくなることで、呼吸しづらい状態になります¹。また、一度線維化した部分が元の状態に戻るのは難しいことがわかっています。肺の線維化を伴う間質性肺疾患は多岐に渡りますが、予後不良とされるものは肺がんや心不全などの合併症を引き起こすリスクが高く²、急激な症状の悪化が起こることもあり、進行すると命にかかわる恐れがある病気です。進行を抑えるためには、早期発見・治療が重要とされています。

エムスリーと日本ベーリンガーインゲルハイムは、今回の提携により、間質性肺疾患やその他の肺疾患の早期発見を実現するための医療機関へのサービス提供を目指すと共に、患者さんの QOL 向上に尽力して参ります。

エムスリーについて

エムスリーは、日本の医師の 9 割にあたる 29 万人が登録する医療従事者専門サイト「m3.com」を運営し、製薬会社向けマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。2017 年 4 月に設立した AI ラボでは、設立以降 45 件の診断支援 AI の開発プロジェクトに携わり、間質性肺疾患に関わる診断支援技術を自社開発いたしました。2020 年 5 月には株式会社 NOBORI と事業提携を行い、AI プラットフォーム事業を開始いたしました。ソリューションを複合的に組み合わせて医療疾患課題自体の解決を目指す「7P プロジェクト」も推進しています。また、日本のみならず米国、英国、フランス、中国、韓国、インドなど海外にも積極的に進出しており、全世界の医師の半数にあたる 580 万人の医師会員・調査パネルを基盤とした様々な事業を行っています。

ベーリンガーインゲルハイムについて

ベーリンガーインゲルハイムの中核をなすのは、人と動物のためにより良い医薬品をお届けすることであり、生活を変える画期的な医薬品や治療法を開発していくことが当社の使命です。1885 年の創立以来、ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業形態を維持しています。将来のヘルスケアにおける課題を見据え、ベーリンガーインゲルハイムが最大限の力を発揮できる分野で貢献できるよう、長期的な視点をもって邁進していきます。

ベーリンガーインゲルハイムは、世界有数の研究開発主導型の製薬企業として、51,000 人以上の社員が、医療用医薬品、アニマルヘルスおよびバイオ医薬品受託製造の 3 つの事業分野において、イノベーションによる価値の創出に日々取り組んでいます。2019 年度、ベーリンガーインゲルハイムは約 190 億ユーロの純売上高を達成しました。研究開発に約 35 億ユーロを投じてイノベーションに注力し、生命を救いクオリティオブライフ(生活の質)を向上させる新しい医薬品の創出に注力しています。

ベーリンガーインゲルハイムはパートナーシップを重視し、ライフサイエンス分野における多様な知見を活かして科学的な可能性を広げていきます。様々な協働を通じて、現在そして未来の患者さんの生活を変えるような画期的な治療法を提供していきます。

ベーリンガーインゲルハイムは、IPF.jp と kyohisyo.jp を通じて間質性肺疾患の情報を提供し、間質性肺疾患の患者さんやご家族を支援しています。

詳細は、下記をご参照ください。

<http://www.boehringer-ingelheim.com/>

(ベーリンガーインゲルハイム)

<http://www.boehringer-ingenelheim.jp/>

(ベーリンガーインゲルハイムジャパン)

Reference

1. <https://www.nanbyou.or.jp/entry/156>
2. 特発性間質性肺炎の診断・治療ガイドライン、日本呼吸器学会びまん性肺疾患診断・治療ガイドライン作成委員会 厚生労働科学研究特定疾患対策事業びまん性肺疾患研究